

専門基礎科目(必修)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
GE10201	哲学	1	2.0	2	秋AB	火3,4	横山 幹子	西洋哲学の歴史を概観し、哲学史に関する基礎的な知識を習得することを目指す。論理学の基本的な考え方に触れる。そして、それらを学ぶことを通じて、「考えること」の意味と重要性について考える契機を与える。	対面
GE10911	統計	1	2.0	2	春AB	月1,2	歳森 敦	数理統計学の基礎を講義する。内容は、統計の意味、代表値、確率、母集団と標本、正規分布、統計的推定、仮説検定の考え方などである。	対面
GE11012	知識情報演習I-1	2	2.0	2	春AB	火1,2	武田 将季, 阪口 哲男	メタデータ(図書館目録、ダブリンコアなど)の作成と検索システムの構築に関する演習を行う。	知識1,3クラス対象。 対面 履修希望者が実習室定員を超える場合は初回に受講調整。
GE11022	知識情報演習I-2	2	2.0	2	春AB	水1,2	武田 将季, 鈴木 伸崇	メタデータ(図書館目録、ダブリンコアなど)の作成と検索システムの構築に関する演習を行う。	知識2,4クラス対象。 対面 履修希望者が実習室定員を超える場合は初回に受講調整。
GE11112	知識情報演習II-1	2	2.0	2	春C秋A	火1,2	原 淳之, 芳鐘 冬樹	情報や文献の探索に関する実践的演習を行うとともに、パスファインダーやサブジェクトゲートウェイなどを作成して探索方法を人に伝える方法についても学ぶ。	知識1,3クラス対象。 対面(オンライン併用型) 履修希望者が75名を超える場合は初回に受講調整。
GE11122	知識情報演習II-2	2	2.0	2	春C秋A	水1,2	原 淳之, 池内 淳	情報や文献の探索に関する実践的演習を行うとともに、パスファインダーやサブジェクトゲートウェイなどを作成して探索方法を人に伝える方法についても学ぶ。	知識2,4クラス対象。 対面(オンライン併用型) 履修希望者が75名を超える場合は初回に受講調整。
GE11212	知識情報演習III-1	2	2.0	2	秋BC	火1,2	小泉 公乃, 上保 秀夫	前半は、分類法と索引法のツールおよび主題分析の方法に関する演習を行う。後半は、情報検索システムの処理過程を学習すると共に、情報検索システムの構築に関する演習を行う。	知識1,3クラス対象。 対面(オンライン併用型) 履修希望者が75名を超える場合は初回に受講調整。
GE11222	知識情報演習III-2	2	2.0	2	秋BC	水1,2	西川 開, 加藤 誠	前半は、分類法と索引法のツールおよび主題分析の方法に関する演習を行う。後半は、情報検索システムの処理過程を学習すると共に、情報検索システムの構築に関する演習を行う。	知識2,4クラス対象。 対面(オンライン併用型) 履修希望者が75名を超える場合は初回に受講調整。
GE11612	専門英語A1	2	1.0	2	春ABC	水3	長谷部 郁子	大学での学習に必要な英語の能力を作文力を中心に発展させる。	GE11712(秋ABC水3)とセットで履修すること。 履修申請期限は4月16日(水)まで。 知識学類生に限る。対面
GE11632	専門英語A1	2	1.0	2	春ABC	水4	長谷部 郁子	大学での学習に必要な英語の能力を作文力を中心に発展させる。	GE11732(秋ABC水4)とセットで履修すること。 履修申請期限は4月16日(水)まで。 知識学類生に限る。対面
GE11642	専門英語A1	2	1.0	2	春ABC	水4	ポーリー マーティン エドモンド	「一般学術目的の英語」(どの学問分野でも通用する学術的英語)に重点を置き、学術研究の場で英語が駆使できるようになることを目指して、それにふさわしい教養と言語技能を養う。	GE11742(秋ABC水4)とセットで履修すること。 履修申請期限は4月16日(水)まで。 知識学類生に限る。対面
GE11712	専門英語A2	2	1.0	2	秋ABC	水3	長谷部 郁子	大学での学習に必要な英語の能力を作文力を中心に発展させる。	GE11612(春ABC水3)とセットで履修すること。 知識学類生に限る。対面
GE11732	専門英語A2	2	1.0	2	秋ABC	水4	長谷部 郁子	大学での学習に必要な英語の能力を作文力を中心に発展させる。	GE11632(春ABC水4)とセットで履修すること。 知識学類生に限る。対面
GE11742	専門英語A2	2	1.0	2	秋ABC	水4	ポーリー マーティン エドモンド	「一般学術目的の英語」(どの学問分野でも通用する学術的英語)に重点を置き、学術研究の場で英語が駆使できるようになることを目指して、それにふさわしい教養と言語技能を養う。	GE11642(春ABC水4)とセットで履修すること。 知識学類生に限る。対面
GE12112	アカデミックスキルズ	2	1.0	1	秋AB	水3	吉田 右子	情報検索、レポートライティング、プレゼンテーションなど、大学生の3R'sに相当する基本的な知的生産技法を少人数クラスで学ぶ。	知識1年1クラスと2年次以上対象。 知識学類生に限る。 CDP。対面
GE12122	アカデミックスキルズ	2	1.0	1	秋AB	水3	高良 幸哉	情報検索、レポートライティング、プレゼンテーションなど、大学生の3R'sに相当する基本的な知的生産技法を少人数クラスで学ぶ。	知識1年2クラス対象。 知識学類生に限る。 CDP。対面
GE12132	アカデミックスキルズ	2	1.0	2	春AB	水3	高久 雅生	情報検索、レポートライティング、プレゼンテーションなど、大学生の3R'sに相当する基本的な知的生産技法を少人数クラスで学ぶ。	知識2年3クラス対象。 知識学類生に限る。 CDP。対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
GE12142	アカデミックスキルズ	2	1.0	2	春AB	水3	照山 絢子	情報検索、レポートライティング、プレゼンテーションなど、大学生の3R'sに相当する基本的な知識の生産技法を少人数クラスで学ぶ。	知識2年4クラス対象。知識学類生に限る。CDP 対面

専門基礎科目(選択)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
GE20401	量的調査法	1	2.0	2	秋AB	木3,4	叶 少瑜	質問紙調査の企画、標本抽出の方法、調査票の設計、調査の実施、作表とグラフ化、クロス集計と仮説検定など、質問紙調査と分析のための知識を講義する。	対面(オンライン併用型)
GE20511	多変量解析	1	2.0	2	春C	月・木3,4	大澤 文人	データ解析の基礎として、重回帰分析や主成分分析、判別分析など基礎的な多変量解析手法を演習付きで講義する。	知識学類生に限る。対面(オンライン併用型)
GE20601	情報探索論	1	2.0	2	春AB	木5,6	辻 慶太	情報探索のための情報の蓄積・更新、情報探索の基本的な方法・理論および情報探索のプロセスについて、利用者の探索行動の特性および情報要求と関連づけながら学ぶ。	対面
GE20701	質的調査法	1	2.0	2	春AB	木3,4	照山 絢子	この授業では、社会学・文化人類学における質的調査の柱であるエスノグラフィー(参与観察とインタビュー)に焦点を当てて、そのさまざまなアプローチを概観する。質的調査に基づいて書かれた文献に多く触れることで理論の応用方法を学ぶ。	対面
GE20801	情報行動論	1	2.0	2	秋C	火・金5,6	松林 麻実子	情報の獲得と発信に関連する認知的、行動的、社会的諸要素の理解と、情報獲得のための行動様式等について学ぶ。	対面 履修希望者が90名を超えた場合、初回授業で受講調整(初回授業に参加できない事情がある者は事前に授業担当者に連絡すること)。
GE20901	知識発見基礎論	1	2.0	2	秋C	火3,4,木1,2	松原 正樹	創造性を伴う知識発見の認知過程について学ぶ。またより良く生きるための自己理解や課題解決のための様々な知識発見技法について実践的に学ぶ。	対面(オンライン併用型) 履修希望者が80名を超えた場合、初回授業で受講調整(初回授業に参加できない事情がある者は事前に授業担当者に連絡すること)
GE21001	知識資源組織化論	1	2.0	2	春AB	月3,4	高久 雅生	知識資源の効果的かつ効率的な利用を目的として行われる、情報の分析、記述に基づく知識資源の組織化に関する基本的な考え方を学ぶ。	対面
GE21101	データベース概説	1	2.0	2	春AB	火3,4	鈴木 伸崇	データベース技術の基礎概念を学ぶ。具体的には、データベースの定義と種類、データモデリングの考え方、リレーショナルモデルの基礎、データベース管理システム(DBMS)の基本機能、データベース設計と管理などを、体系的に講義と演習を通じて学ぶ。	対面(オンライン併用型)
GE21201	コンピュータシステムとネットワーク	1	2.0	2	秋AB	月3,4	阪口 哲男	現代社会で欠かせないコンピュータシステムとネットワークについての基本構成と動作原理を学ぶ。ハードウェア、ソフトウェアの各構成要素、システム間のデータ送受の基本的な手順と通信規約の役割を解説し、それらを総合した応用等についても概説する。	対面
GE21301	自然言語解析基礎	1	2.0	2	秋AB	月1,2	関 洋平	人間の日常言語の内容を計算機で解析する自然言語解析は、機械翻訳、Web 検索、対話システム、質問応答、音声認識、仮名漢字変換などで実用的な成果をあげている。本講義は、自然言語処理の概要、形態素解析、言語モデル、構文解析、意味解析など自然言語解析の基礎理論を幅広く講義する。	対面(オンライン併用型)
GE21401	メディア社会学	1	2.0	2	秋C	月・木3,4	寺地 美奈子	メディア研究、知識情報学の基礎としての社会学を学ぶ。哲学の一分野として出発した社会学が、社会調査等で日常生活の具体像に向き合うのはなぜか、その問題意識や方法を考察する。具体的には、ウェーバー社会学の方法を学び、人々の意識や行動を捉える社会調査が、どのように人々の意味世界に迫るか論じる。	GC20101と同一。オンライン(オンデマンド型) 情報メディア創成学類生はGC20101を、それ以外の学生はGE21401を履修すること。
GE21601	公共経済学	1	2.0	2				本講義は、1)経済学の概要、2)ミクロ経済学の基本的な概念、3)公共経済学の3部構成です。1)では、経済学の学説史的系譜を学習し、経済学の現在の意義を理解します。2)では、消費者の理論・生産者の理論・市場均衡・余剰分析といったミクロ経済学の基礎的概念について講義と演習を行います。3)では、市場が失敗する諸条件と、その対処法について解説します。	2025年度開講せず。
GE21701	生涯学習と図書館	1	2.0	2	春AB	月5,6	吉田 右子	生涯学習の意義、関連法と社会教育行政、生涯学習施設の運営、他機関との連携、海外の生涯学習の動向について概説する。図書館における生涯学習の支援の在り方について、国内と海外の事例を幅広く学ぶ。	対面
GE21812	テキスト解釈-1	2	2.0	2	秋AB	木5,6	白井 哲哉	主に江戸時代の古文書を対象に、テキストの音読・翻刻・解釈の技術に関する基礎的なトレーニングを行い、紙媒体文字メディアの調査研究の方法を理解する。	実務経験教員。対面
GE21822	テキスト解釈-2	2	2.0	2	秋AB	木5,6	村田 光司	主として前近代ヨーロッパの文字テキスト(歴史的事件や神話・伝承などに関する記録群)を対象として、記録の内容や情報源、伝達といった諸要素の基礎的な分析を行い、文字資料を多面的に読解・調査するため必要な能力を養う。	対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
GE22101	経営・組織論	1	2.0	2	春AB	金5,6	大庭 一郎	この講義では、図書館の経営や情報システムの構築に必要な、経営概念、経営管理、意思決定、組織、人間行動等についての基礎を概説する。経営管理機能は、一般に人々が共通の目標を達成するために協同で活動する場合に、常に存在する機能である。そこで、この講義では、経営管理一般についての入門的解説に重点を置いて講義を展開し、あわせて、経営管理論の視点から図書館や情報システムのとらえ方について解説する。	実務経験教員。対面
GE22201	機械学習	1	2.0	2	秋C	月5,6 木5,6	山本 修平	現在の人工知能の進歩を支える機械学習について講義と演習を行う。教師あり学習および教師なし学習を主な対象として、それらの代表的なアルゴリズムについて学ぶ。機械学習システムを適切に開発・利用するための方法論にも触れる。	対面
GE22401	情報数学B	1	2.0	2	秋AB	月3,4	森継 修一	整数および多項式を題材とした代数学の基本を講義する。特にコンピュータ上での実現を視野におき、数式処理システムを利用した問題解法や数式処理固有のアルゴリズムの解説も視野に入れる。	GC21501と同一。 対面 情報メディア創成学類生はGC21501を、それ以外の学生はGE22401を履修すること。ただし、2019年度までに情報メディア創成学類で開設された情報数学II(GC21201)の単位を修得した者の履修は認めない。
GE22501	システム思考	1	2.0	2	秋AB	木1,2	真栄城 哲也	システム思考は、対象物や現象を、複数の要因のつながりとして捉え、要因間の相互作用を理解することを目的とする。問題の見えている部分を近視眼的・表層的に捉えるのではなく、全体像を様々な要素のつながりとして理解し、問題の本質を明らかにする。対象物や現象が、複数の要素から構成され、全体の性質が要素間の相互作用によって決定付けられると捉える視点の考え方や方法論、デザインについて解説する。また、手法の習得のための演習を行う。応用対象として自然界と社会の両者を扱う。	対面
GE22601	ユーザ研究実験法	1	2.0	2	秋AB	火5,6	上保 秀夫	本科目では、情報行動をとる主体に着目するユーザ研究のうち、特に実験法について実践を通して学ぶ。さらに、検索エンジンなどの情報システム評価にユーザ研究を取り入れる方法について理解を深める。	対面
GE22701	アーカイブズ基礎	1	2.0	2	春AB	火5,6	白井 哲哉, パー ルィシェフ エド ワルド, 村田 光司	記録情報資源としてのアーカイブズ(記録、資料)やその保存活用機関であるアーカイブズ(施設)に関する基礎的な知識や考え方や、またデジタル時代におけるアーカイブズの現状や課題を概説して、図書館情報学や博物館情報学との関連を踏まえたアーカイブズをめぐる学問領域への理解を深める。	実務経験教員。対面

専門基礎科目(自由)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
GE32013	知的探求の世界II-1	3	1.0	3				言語の起源は謎に包まれている。言語の創発過程は直接化石に残らないことから、考古学的な証拠の不足を補う数理的アプローチが必要とされている。本科目では、AIエージェントを含む計算モデルを用いて、言語やコミュニケーションの創発と進化に関する数理的な性質を分析する実験に取り組む。これにより、マルチエージェント強化学習や進化計算などの手法について実践的に学ぶ。	西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型)
GE32033	知的探求の世界II-3	3	1.0	3				TRECやCLEF, NTCIRなどの評価型ワークショップにて提案されている、情報検索タスクに取り組むことで、情報検索アルゴリズムや自然言語処理、機械学習などの手法について実践的に学ぶ。	西暦偶数年度開講。 2025年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
GE32043	知的探求の世界II-4	3	1.0	3				人間の感性は測定可能であるか。直感的かつ抽象的なイメージから実用的な情報に可視化する方法を探る。	西暦偶数年度開講。 対面
GE32053	知的探求の世界II-5	3	1.0	3	春ABC秋A	応談	阪口 哲男	【ソースコード講義2】 ソースコードが公開されているソフトウェアの読み解きを通じて、そこに使われている諸技術や様々なノウハウ、慣習などについて学ぶ。また、簡単なプログラム例を作成することで、それらについての理解を深める。	西暦奇数年度開講。 対面
GE32063	知的探求の世界II-6	3	1.0	3				ビッグデータ、機械処理とヒューマンコンピューテーションを利用したヒューマン・イン・ザ・ループAIを実現するための手法を実践的に学びます。これらを組み合わせ、人手だけ、もしくは機械だけでは解決が困難な問題を解くために必要になる技術を習得することができます。また、卒業研究などで必要となるプロセスの体験ができます。	西暦偶数年度開講。 対面(オンライン併用型)
GE33013	知的探求の世界I-1	3	2.0	2	通年	応談	若林 啓	言語の起源は謎に包まれている。言語の創発過程は直接化石に残らないことから、考古学的な証拠の不足を補う数理的アプローチが必要とされている。本科目では、AIエージェントを含む計算モデルを用いて、言語やコミュニケーションの創発と進化に関する数理的な性質を分析する実験に取り組む。これにより、マルチエージェント強化学習や進化計算などの手法について実践的に学ぶ。	西暦奇数年度開講。 対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GE33033	知的探求の世界1-3	3	2.0	2				TRECやCLEF, NTCIRなどの評価型ワークショップにて提案されている、情報検索タスクに取り組むことで、情報検索アルゴリズムや自然言語処理、機械学習などの手法について実践的に学ぶ。	西暦奇数年度開講。 2025年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
GE33043	知的探求の世界1-4	3	2.0	2	通年	応談	李昇姫	人間の感性は測定可能であるか。直感的かつ抽象的なイメージから実用的な情報に可視化する方法を探る。	西暦奇数年度開講。 対面
GE33053	知的探求の世界1-5	3	2.0	2				【ソースコード講読1】 ソースコードが公開されているソフトウェアの読み解きを通じて、そこに使われている諸技術や様々なノウハウ、慣習などについて学ぶ。また、簡単なプログラム例を作成することで、それらについての理解を深める。	西暦偶数年度開講。 対面
GE33063	知的探求の世界1-6	3	2.0	2				ビッグデータ、機械処理とヒューマンコンピューテーションを利用したヒューマン・イン・ザ・ループAIを実現するための手法を実践的に学びます。これらを組み合わせ、人手だけ、もしくは機械だけでは解決が困難な問題を解くために必要になる技術を習得することができます。また、卒業研究などで必要となるプロセスの体験ができます。	西暦奇数年度開講。 2025年度開講せず。 対面(オンライン併用型)

専門科目(学類共通)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
GE40201	学習指導と学校図書館	1	2.0	3	秋AB	火5,6	小野 永貴	学校には必ず学校図書館があり、様々なメディアが提供されている。この学校図書館の機能とメディアを駆使し、効果的な教科教育や探究学習指導が行える人材になるべく、「読書・学習・情報」の3観点から指導手法や学習支援の枠組みを理解する。そして、発達段階に応じた読解力・探究力・情報リテラシー育成の在り方について考究する。	実務経験教員。対面(オンライン併用型) 対面5回+オンライン5回で実施。オンラインの回は原則的にリアルタイム型とするが、録画映像も公開する。対面の回も講義を収録し、来校できなかった者に向けて配信する予定。(学生の事情を考慮し部分的にオンデマンド受講を認める場合もある)
GE40301	学校図書館メディアの構成	1	2.0	3	秋AB	火1,2	池内 淳	学校図書館メディアおよび専門職としての司書教諭を理解し、学校図書館メディアを用いた学校教育活動の支援に関する認識を深め、多様なメディアを扱うことを可能とする、実際的な知識と技術を学ぶ。	対面(オンライン併用型)
GE40401	読書と豊かな人間性	1	2.0	3	春AB	金5,6	鈴木 佳苗	児童・生徒の読書の現状や読書の影響について理解し、発達段階に即した読書教育の理念と方法について学ぶ。	履修希望者が100名を超える場合は、初回に受講調整を行います。初回の授業(金曜日5-6時限)に出席できない場合は、5時限目開始より前に必ず連絡してください(受講調整を行う場合には、事前に連絡がないと履修できない可能性があります)。 対面(オンライン併用型)
GE40501	情報メディアの活用	1	2.0	3	秋AB	火3,4	大澤 文人	活字メディア、視覚メディア、教育用ソフトウェア、ネットワーク上の情報資源等多様な情報メディアの特性を踏まえて、それらを教育現場で活用していく方法について学ぶ。	対面(オンライン併用型) 履修希望者が100名を超える場合は初回に受講調整
GE40603	インターンシップ	3	2.0	3	夏季休業中	集中	村井 麻衣子, 吉田 右子, 大澤 文人, 芳鐘 冬樹	図書館や企業などの職場における就業経験を通して、知識や情報と職業の関わり、知識や情報に関わる職業人としてのあり方を理解する。知識や情報と社会の関係、情報化、情報倫理、情報技術に加え、職業倫理、職業観、勤労観などを、職場での体験から学ぶ。	本科目の履修は原則として3年次生以上に限る。 知識学類生に限る。 CDP。対面(オンライン併用型) 受講生は学研災付帯階AコースまたはBコースへの加入必須。
GE40703	国際インターンシップ	3	2.0	3・4	通年	応談	鈴木 佳苗, 原 淳之, パーリュシェフ エドワルド	海外の図書館や情報センターにおいて、図書館・情報業務を経験する。	知識学類生に限る。 CDP。対面(オンライン併用型)
GE42002	国際学術演習A	2	1.0	1-4				筑波大学海外留学支援事業(はばたけ!筑大生)の「海外学会等参加支援プログラム」採択者が履修するための科目である。	履修申請は海外出張手続きの際に学群教務窓口へ申し出ること。成績はP/Fで評価。 2025年度開講せず。 知識学類生に限る。G科目。対面(オンライン併用型)
GE42102	国際学術演習B	2	1.0	1-4				筑波大学海外留学支援事業(はばたけ!筑大生)の「海外学会等参加支援プログラム」採択者が履修するための科目である。	履修申請は海外出張手続きの際に学群教務窓口へ申し出ること。成績はP/Fで評価。 2025年度開講せず。 知識学類生に限る。G科目。対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
GE50712	専門英語B-1	2	1.0	3	春AB	月4	芳鐘 冬樹	専門科目や卒業研究に必要な英語読解力を専門書の講読等を通じて習得する。図書館情報学分野の英語で書かれた学術雑誌の論文を教材として用いる。学術論文は特有の構成を持つ文章であるので、まずそれを踏まえた理解の方法について解説する。授業は、毎回、各自、指定された論文を読み、担当者が内容を発表する輪読形式をとる。英語の文章を漫然と読んで「頭の中で分かったつもりになるだけ」ということにならないよう、読んだ内容を論理的に整理して「日本語でまとめる(逐語訳である必要はない)」練習と、それを他者に説明する練習を行う。授業の理解度の確認のため、数回簡単な小テストを実施する。	対面(オンライン併用型) 知識科学専攻生、および、知識情報システム専攻生の一部(TWINSにて揭示)対象。
GE50722	専門英語B-2	2	1.0	3				This course aims to make students familiar with academic English. Students will learn how to read and write research papers. Also, students will practice making a presentation and listening to others' research presentations. This course is designated for undergraduate students and will be based on entire activities of conducting research.	英語で授業。 2025年度開講せず。 対面(オンライン併用型) 知識情報システム専攻生対象。
GE50732	専門英語B-3	2	1.0	3	春AB	月4	パールィシェフ エドワルド	専門科目や卒業研究に必要な英語能力をミニ・レクチャーの聴解、学術的なテキストの講読、アカデミック・ライフ関連の会話や作文の練習等を通じて習得する。	対面 情報資源経営専攻生対象、および、知識情報システム専攻生の一部(TWINSにて揭示)対象。
GE50812	専門英語C-1	2	1.0	3	秋AB	月4	千 海濤	学術論文の読解と動画を視聴することで、英語による読解力とプレゼンテーションスキルを習得する方法を学ぶ。	対面(オンライン併用型) 知識科学専攻生対象
GE50822	専門英語C-2	2	1.0	3	秋AB	月4	パールィシェフ エドワルド	専門科目や卒業研究に必要な英語読解力や表現力を学術的なテキストの講読や作文の練習等を通じて習得する。	知識情報システム専攻生対象。 対面 期末試験は対面で実施。
GE50832	専門英語C-3	2	1.0	3	秋AB	月3	小泉 公乃	この授業では、はじめに、専門科目や卒業研究に必要な英文読解力を学術論文の精読を通じて修得する。そのうえで、英語による発表・議論の映像資料の聴解を通して、国際会議等でコミュニケーションをするための基礎的な力を身に付けることを目指す。学術論文の精読では、主に図書館情報学分野を主題として扱う。英語による発表・議論の映像資料は、分野を問わず優良なものを扱う。	オンライン(オンデマンド型) 情報資源経営専攻生対象。
GE51118	卒業研究A	8	3.0	4	春ABC	随時	知識情報・図書館学類担当教員	研究の実行や論文の執筆を通じて、まとまった大きさの思索の展開あるいは調査分析や研究開発等を経験し、問題の構想力、解決力と創造性を養う。	知識学類生に限る。対面(オンライン併用型)
GE51128	卒業研究A	8	3.0	4	秋ABC	随時	知識情報・図書館学類担当教員	研究の実行や論文の執筆を通じて、まとまった大きさの思索の展開あるいは調査分析や研究開発等を経験し、問題の構想力、解決力と創造性を養う。	指導教員から指示された該当者は支援室窓口で履修申請すること。 知識学類生に限る。対面(オンライン併用型)
GE51218	卒業研究B	8	3.0	4	秋ABC	随時	知識情報・図書館学類担当教員	研究の実行や論文の執筆を通じて、まとまった大きさの思索の展開あるいは調査分析や研究開発等を経験し、問題の構想力、解決力と創造性を養う。	知識学類生に限る。対面(オンライン併用型)
GE51228	卒業研究B	8	3.0	4	春ABC	随時	知識情報・図書館学類担当教員	研究の実行や論文の執筆を通じて、まとまった大きさの思索の展開あるいは調査分析や研究開発等を経験し、問題の構想力、解決力と創造性を養う。	指導教員から指示された該当者は支援室窓口で履修申請すること。 知識学類生に限る。対面(オンライン併用型)

専門科目(知識科学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
GE60113	知識科学実習A	3	1.0	3	春AB	月5,6	知識科学専攻担当教員	本実習の目的は、知識科学専攻を構成する各領域の研究手法や技術を経験して専攻分野の総合的な理解に結びつけることである。学期毎に3-4回程度の小テーマを複数設定し、主としてグループワーク(内容に応じて個人作業)で実習をすすめる。	対面(オンライン併用型) GE60103「知識科学実習」を修得済みの者は履修不可。
GE60123	知識科学実習B	3	1.0	3	秋AB	月5,6	知識科学専攻担当教員	本実習の目的は、知識科学専攻を構成する各領域の研究手法や技術を経験して専攻分野の総合的な理解に結びつけることである。学期毎に3-4回程度の小テーマを複数設定し、主としてグループワーク(内容に応じて個人作業)で実習をすすめる。	対面(オンライン併用型) GE60103「知識科学実習」を修得済みの者は履修不可。
GE60201	テクニカルコミュニケーション	1	2.0	3・4	春AB	火5,6	高久 雅生, 平湯 あつし	専門情報を正確にわかりやすく伝えることを意図した、文書の企画・構成・表現設計等に必要とされる知識・技術・考え方を、マニュアル制作などを題材に学ぶ。また、実際の専門職としてのテクニカルコミュニケーションの業務や活動を演習を通して学ぶ。	履修希望者が75名を超える場合は初回に受講調整を行う。 授業の奇数回を対面授業、偶数回をオンライン授業(リアルタイム進行)で行う。 実務経験教員。対面(オンライン併用型)
GE60501	知識論	1	2.0	3・4	春AB	火3,4	横山 幹子	知識の哲学の観点から、「知識」についての問題を取り扱う。知識の哲学における「知識」の捉え方の歴史を踏まえた上で、「知識」についての現代の多様な考え方の一部を紹介する。	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
GE60601	知識形成論	1	2.0	3・4	秋AB	木5,6	辻 慶太	社会における知識の形成に寄与し、またテキストの形で表現・形成された知識そのものと言える辞書的な言語資源、即ち百科事典、国語辞書、専門用語辞書、シソーラス、オントロジー等について、その歴史や現状、意義や問題点、作成方法などを学習する。	対面
GE60801	学術メディア論	1	2.0	3・4	春AB	金3,4	松林 麻実子	学術コミュニティを対象として、情報の生産・流通・利用に関する学術情報流通モデル、学術情報メディア等を総合的に学ぶ。	対面
GE61001	コミュニティ情報論	1	2.0	3・4				数量的なモデル・分析を通じて共同体における知識・情報の利用とそれにもとづく様々な活動について学ぶ。	2025年度開講せず。
GE61101	図書館建築論	1	2.0	3・4	秋AB	水5,6	川島 宏	図書館は人（司書）と資料（図書）と施設（建築）で成り立っている。授業では、図書館施設の歴史や現在、そして将来に向けて、施設構築や運営の考え方・手法等を多角的に展開する。多くの魅力ある事例を紹介し、知識習得に留まることなく、施設のあり方を「自ら考える」契機を提供する。	実務経験教員。対面
GE61301	情報評価	1	2.0	3・4	春AB	火1,2	芳鐘 冬樹	情報の生産、流通、蓄積、提供、利用の諸側面における情報評価の意義と方法論について、学術情報を中心に学ぶ。また、計量情報学的モデル・指標の基礎と、それらの情報評価への応用の実際についても幅広く学ぶ。	対面
GE61801	データ構造とアルゴリズム	1	2.0	3・4	秋AB	木1,2	伊藤 寛祥	高速な検索の基礎となるファイル構造と探索アルゴリズムについて講義する。各種アルゴリズムの計算量を数学的に解析し、それらの比較を行うことを通じて、高速アルゴリズムの設計手法を議論する。	GE71801と同一。 対面（オンライン併用型） 知識科学主専攻生はGE61801を、それ以外の学生はGE71801を履修すること。
GE61901	情報検索システム	1	2.0	3・4	春AB	金1,2	関 洋平	本講義では、文書データベースを対象にした情報検索システムについて講義する。具体的には、情報検索の基本原則、システムの実装方法、評価方法、設計と管理、応用事例についての講義と実習を行う。	GE70501と同一。 対面（オンライン併用型） 知識科学主専攻生はGE61901を、それ以外の学生はGE70501を履修すること。
GE62001	生命情報学	1	2.0	3・4	春AB	木5,6	真築城 哲也	生命が持つ情報の側面（遺伝情報や脳活動、関係性ネットワーク）について学ぶ。さらに、近年の生物学の研究において、必須となっている情報学の考え方や手法を、関連する生命現象とともに学ぶ。	対面
GE62101	知識コミュニケーション	1	2.0	3・4	秋AB	火5,6	照山 絢子	前半においてはコミュニケーション学の理論的な基礎を概観し、後半は各論としてさまざまな角度からコミュニケーションの多様な形態と実践について考えていく。	対面
GE62301	ソーシャルメディア分析	1	2.0	3・4	秋AB	水1,2	叶 少瑜	ソーシャルメディアの概念と現状、その使用による影響・分析手法などについて論じる。	対面（オンライン併用型）
GE62401	Machine Learning and Information Retrieval	1	2.0	3・4				Machine learning is playing a fundamental role in our daily life from the way we check emails right down to the way we search online. This course will introduce a number of representative machine learning methods, and show how to utilize them to solve the ranking problem in the field of information retrieval.	GC55301, GE72701と同一。 英語で授業。 2025年度開講せず。 G科目。対面（オンライン併用型） 情報メディア創成学類生はGC55301を、知識情報システム主専攻生はGE72701を、それ以外の学生はGE62401を履修すること。
GE62501	Human Information Interaction	1	2.0	3・4	春AB	木3,4	上保 秀夫	Human Information Interaction investigates the interaction between people and information. In this course, students deepen their understanding of elements that shape human information interaction, and apply the knowledge for designing novel interaction models, systems, or services.	GC55201, GE73101と同一。 英語で授業。 G科目。対面 情報メディア創成学類生はGC55201を、知識情報システム主専攻生はGE73101を、それ以外の学生はGE62501を履修すること。 GE60701「レファレンスサイエンス」を修得済みの者は履修不可
GE62601	身体知	1	2.0	3・4	春AB	月1,2	松原 正樹	身体感覚を通じて身心を観察する観想的実践や身体知の研究手法について学び、身体性に基づく人間の知を体験的に理解する。受講者一人ひとりの生活に現れる身体知に関する問いを探索し、観察・洞察・議論を行う形式で授業を行う。	対面 履修希望者が28名を超えた場合、初回授業で受講調整（初回授業に参加できない事情がある者は事前に授業担当者に連絡すること）

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
GE62701	メディア技術と文化	1	2.0	3・4				われわれが普段接しているメディアの技術的側面に着目し、技術と人間・社会との関わりという文化的現象について学ぶ。各メディア媒体、放送や通信サービス、インターネット上のサービスがどのような背景から誕生し、私たちの生活をいかに変容させ、社会にいかなる影響を与えているのかを考察し、メディア技術と文化のあり方を探る。	2025年度開講せず。 オンライン(オンデマンド型)

専門科目(知識情報システム)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
GE70113	知識情報システム実習A	3	1.0	3	春AB	月5,6	知識情報システム 主専攻担当教員	知識情報システム主専攻の専門科目に関連した実習を行う。	対面(オンライン併用型) GE70103「知識情報システム実習」を修得済みの者は履修不可。
GE70123	知識情報システム実習B	3	1.0	3	秋AB	月5,6	知識情報システム 主専攻担当教員	知識情報システム主専攻の専門科目に関連した実習を行う。	対面(オンライン併用型) GE70103「知識情報システム実習」を修得済みの者は履修不可。
GE70201	情報サービスシステム	1	2.0	3・4	春AB	火3,4	松村 敦	高度情報化社会の情報提供サービスの将来像に関して、求められる情報サービスと技術を、オリジナル情報提供者、キャリア、利用者などそれぞれの立場から学ぶ。	対面(オンライン併用型)
GE70301	デジタルドキュメント	1	2.0	3・4	秋AB	木3,4	高久 雅生	デジタルドキュメントは、ハイパーテキスト、ウェブを介した発信、多人数による共同編集等の概念を含む、新しい情報メディアである。本講義では、学術研究分野や電子出版、電子書籍におけるデジタルドキュメントの作成と管理、発信の実例を取り上げ、その機能がどのように実現されるかを解説する。	GC53401と同一。 実務経験教員。対面情報メディア創成学類生はGC53401を、それ以外の学生はGE70301を履修すること
GE70401	デジタルライブラリ	1	2.0	3・4	春AB	木3,4	宇陀 則彦	デジタルライブラリの誕生から図書館サービスとして定着するまでの流れを説明し、学術情報基盤を前提としたデジタルライブラリの機能について考察する。また、デジタルアーカイブやデジタルミュージアムとの違いについても論じる。	対面
GE70501	情報検索システム	1	2.0	3・4	春AB	金1,2	関 洋平	本講義では、文書データベースを対象にした情報検索システムについて講義する。具体的には、情報検索の基本原則、システムの実装方法、評価方法、設計と管理、応用事例についての講義と実習を行う。	GE61901と同一。 対面(オンライン併用型) 知識科学主専攻生はGE61901を、それ以外の学生はGE70501を履修すること。
GE70601	Webプログラミング	1	2.0	3・4	春AB	木1,2	阪口 哲男	インターネットでは、Webの機構を用いて様々な情報提供や取引、人や組織間のコミュニケーションが行われている。Web上で情報提供やコミュニケーションの機能を実現するための、サーバ側プログラミングの基本原則と実際、セキュリティ問題などを解説し、事例を紹介する。実習を含む。	対面
GE70701	マルチメディアシステム	1	2.0	3・4	春AB	火1,2	大澤 文人	マルチメディア工学の基礎、デジタル情報の編集加工、マルチメディア表現などを講義と実習を通じて学ぶ。また、技術面だけでなくマルチメディアサービスと社会の関連についても学ぶ。	対面(オンライン併用型) 情報科免許希望者の2年次生の受講を認めます。
GE70801	データ表現と処理	1	2.0	3・4				XMLなどの文書データの表現と処理について概説する。具体的には、XMLデータとそのスキーマ言語、電子書籍(EPUB)、XMLと関係モデルとの関連、XPathによるXMLデータの検索・加工などについて説明する。	2025年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
GE70901	データベース技術	1	2.0	3・4				データベースシステムを実際に構築する際の諸技術と必要知識について、リレーショナルデータベースを主な対象にして、APIをとおしたアプリケーションとの連携、スキーマ定義、インデックスの利用と効果などを、演習を交えながら学ぶ。	2025年度開講せず。 オンライン(対面併用型)
GE71001	情報デザインとインタフェース	1	2.0	3・4	春AB	火5,6	時井 真紀	実験結果はグラフや画像で可視化すると、データに潜む情報が直感的に読み取れる。機器の操作にはアイコンやメニューによるGUIがわかりやすい。人とマシン間の情報の取得と提供をスムーズに行うための、データ可視化技術や直感的なGUI作成法について、講義と実習を通じて学ぶ。	対面(オンライン併用型)
GE71101	ヒューマンインタフェース	1	2.0	3・4	春AB	木5,6	高橋 伸, 古川 宏	ユーザの側に立ったヒューマンインタフェースの考え方について説明する。身近な道具や日用品におけるヒューマンインタフェース、ヒューマンインタフェースの原理、インタフェース設計などについて学ぶ。GUIや視覚的インタフェース技術について学習し、これらの考え方にもとづき簡単なインタフェース設計ができるようになることを目指す。	主専攻共通科目 BC12671, GB40301と同一。 対面
GE71801	データ構造とアルゴリズム	1	2.0	3・4	秋AB	木1,2	伊藤 寛祥	高速な検索の基礎となるファイル構造と探索アルゴリズムについて講義する。各種アルゴリズムの計算量を数学的に解析し、それらの比較を行うことを通じて、高速アルゴリズムの設計手法を議論する。	GE61801と同一。 対面(オンライン併用型) 知識科学主専攻生はGE61801を、それ以外の学生はGE71801を履修すること。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
GE71901	マークアップ言語	1	2.0	3・4	春AB	月1,2	永森 光晴	データ交換のための表現形式として様々な分野で活用されているXML (Extensible Markup Language)の基礎とXSLT (XML Stylesheet Language Transformations)等の操作言語について取り上げる。また、理解を深めるために受講者が自ら実験できるようなプログラム例やアプリケーションソフトウェアの利用例も必要に応じて紹介する。	GC51901と同一。 対面(オンライン併用型) 受講人数は70人程度を上限とする
GE72501	メディアアート	1	2.0	3・4	春C	火・金 3,4	落合 陽一	メディア装置の発明を伴う芸術活動が近年盛んに行われるようになってきている。文化的表現の手法として計算機科学や応用物理や生物などの工学的発明を伴った表現について国内外で注目が集まりつつある。本講義では、メディア技術史とメディア表現技術を概観し、斬新な表現方法について考察する。	対面(オンライン併用型) 履修希望者が30名を超える場合は受講調整。 制作課題のための材料費は一部自己負担有り、詳細はシラバス参照のこと
GE72601	Human-computer Interaction	1	2.0	3・4	秋C	月・木 3,4	金 宣経	This course introduces basic concepts in the theory and practice of Human-Computer Interaction (HCI). The course will help students acquire knowledge about fundamental principles, techniques, and methods for designing, prototyping, and evaluating user interfaces.	GC55401と同一。 英語で授業。 G科目、対面(オンライン併用型) 情報メディア創成学類生はGC55401を、それ以外の学生はGE72601を履修すること。
GE72701	Machine Learning and Information Retrieval	1	2.0	3・4				Machine learning is playing a fundamental role in our daily life from the way we check emails right down to the way we search online. This course will introduce a number of representative machine learning methods, and show how to utilize them to solve the ranking problem in the field of information retrieval.	GC55301, GE62401と同一。 英語で授業。 2025年度開講せず。 G科目、対面(オンライン併用型) 情報メディア創成学類生はGC55301を、知識情報システム専攻生はGE72701を、それ以外の学生はGE62401を履修すること。
GE72801	知識資源の分類と索引	1	2.0	3・4				本講義では、大量の知識資源の中から特定の主題に関する知識資源を容易に見出せるようにするための方法として、分類および索引について講述する。前半では、代表的な分類法の紹介と共に、分類の基本的な事項について説明する。後半では、統制語や自由語による索引法について述べる。また、分類と索引の自動化についても触れ、Web上の知識資源への応用についても紹介する。	2025年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
GE72901	数式処理システム論	1	2.0	3・4	秋AB	木1,2	森継 修一	GC21501「情報数学B」で学んだ情報系数学の基本アルゴリズムの知識を前提として、代数系の計算を数式処理システム上で効率よく行うための各種アルゴリズムの解析とその応用について論じる。	GC54801と同一。 対面
GE73101	Human Information Interaction	1	2.0	3・4	春AB	木3,4	上保 秀夫	Human Information Interaction investigates the interaction between people and information. In this course, students deepen their understanding of elements that shape human information interaction, and apply the knowledge for designing novel interaction models, systems, or services.	GC55201, GE62501と同一。 英語で授業。 G科目、対面 情報メディア創成学類生はGC55201を、知識情報システム専攻生はGE73101を、それ以外の学生はGE62501を履修すること。 GE60701「レファレンスサイエンス」を修得済みの者は履修不可

専門科目(情報資源経営)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
GE80113	情報資源経営実習A	3	1.0	3	春AB	月5,6	情報資源経営専攻担当教員	情報資源経営専攻の専門科目に関連した実習を行う。	対面(オンライン併用型) GE80103「情報資源経営実習」を修得済みの者は履修不可。
GE80123	情報資源経営実習B	3	1.0	3	秋AB	月5,6	情報資源経営専攻担当教員	情報資源経営専攻の専門科目に関連した実習を行う。	対面(オンライン併用型) GE80103「情報資源経営実習」を修得済みの者は履修不可。
GE80301	学術情報基盤論	1	2.0	3・4	春AB	火3,4	西川 開	論文や研究データといった学術情報が流通する基本的な仕組みや政策動向、および学術情報流通(scholarly communication)という事象に関連する研究領域の動向について学ぶ。	実務経験教員、対面
GE80501	情報サービス経営論	1	2.0	3・4	春AB	水1,2	池内 淳	図書館サービスの考え方と構造の理解を図り、資料提供、情報提供、連携・協力、課題解決支援、障害者・高齢者・多文化サービス等の各種のサービス、著作権、接遇・コミュニケーション等の基本を解説します。	対面(オンライン併用型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
GE80801	情報サービス構成論	1	2.0	3・4	秋AB	金3,4	大庭 一郎	レファレンスサービスは、図書館や情報サービス機関等において、情報を求めている利用者に対して、レファレンス担当者によって提供される人的援助である。現代の図書館では、各種のレファレンス資料を活用しながら、多様なレファレンスサービスを展開することが求められている。この講義では、広義のレファレンスサービスを対象として、レファレンスサービスの目的、構成、方法、各種情報源の利用法、参考調査図書館の組織と運営、等について総合的に解説する。	実務経験教員。対面
GE80901	コレクションとアクセス	1	2.0	3・4	秋AB	月1,2	原 淳之	図書館におけるコレクション形成の意義と方法を、図書館資料の多様性とメディアとしての特質、資料選択に関わる理念と方針、収集と選択の方法、蓄積と保存と評価、出版制度と流通などの面から幅広く学ぶ。	対面
GE81101	メディア教育の実践と評価	1	2.0	3・4	秋AB	木3,4	鈴木 佳苗	メディアリテラシーの育成を中心に、国内外のメディア教育の現状と課題などについて概説する。	対面(オンライン併用型)
GE81201	学校図書館論	1	2.0	3・4	春AB	木3,4	小野 永貴	学校には必ず学校図書館が存在する。そして、学校図書館の専門的職務を担うのが司書教諭である。本科目は、司書教諭に関する導入科目として、学校図書館の世界を俯瞰的に理解し、理念と現実の両面から学校図書館を捉える。最終的には、学校図書館の活性化と効果的な教育実践に向けた提言ができるよう、経営的視点の素地を形成することを目標とする。	実務経験教員。対面(オンライン併用型) 対面5回+オンライン5回で実施。オンラインの回は原則的にリアルタイム型とするが、録画映像も公開する。対面の回も講義を収録し、来校できなかった者に向けて配信する予定。(学生の事情を考慮し部分的にオンデマンド受講を認める場合もある)
GE81301	情報法	1	2.0	3・4	春AB	金3,4	高良 幸哉	ネットワーク社会において新たに発生するようになった法的諸問題に接しながら、法律学の体系に関する主要な概念や法理に基づいて習得し、ネットワークにおいて現実発生している諸問題の現状と法的対応について講義する。	対面(オンライン併用型)
GE81401	知的財産権論A	1	2.0	3・4	秋AB	木5,6	村井 麻衣子	ネットワーク社会における著作権を中心に、特許等の知的財産権全般について学ぶとともに、図書館活動や各種の情報活動の観点から、知的財産権が持つ意義について学ぶ。	対面(オンライン併用型) オンデマンドと同時双方向併用
GE81901	図書館文化史論	1	2.0	3・4				図書館の現在や未来を語る上で、図書館および記録メディアの歴史についての理解は不可欠である。本科目では、図書館とかかわりの深い記録メディアの歴史を理解するとともに、海外および日本の図書館の歴史的発展、またその文化史的意義について学ぶ。	2025年度開講せず。 対面(オンライン併用型)
GE82601	パブリックガバナンス	1	2.0	3・4	秋AB	金5,6	小泉 公乃	パブリックガバナンス(共治)が、政治、政治哲学、公共経営、経営管理、図書館情報学など幅広い学問領域で議論されてきている。この中心には、市民とコミュニティが位置付けられており、知識・情報サービスを市民に提供する図書館は、パブリックガバナンスの基盤となる。また、パブリックガバナンスの概念も情報技術の影響を受け、イーガバナンスなどの電子的な領域にまで拡張してきている。この授業では、パブリックガバナンスにおける図書館の意義・役割を学修する。	対面(オンライン併用型)
GE82802	PBL型図書館サービスプログラム開発	2	2.0	3・4	通年	応談	松村 敦, 武田 将季	WBS(Work Breakdown Structure)によってプロジェクトを構築し、図書館サービスプログラム(高齢者の認知症予防プログラム)の提案企画書等を作成し、発表、相互評価を行う。	事前に受講説明会を開催しますので履修希望者は必ず参加してください。受講説明会後にTWINSへの履修登録が可能になります。知識学類生に限る。対面(オンライン併用型) 受講生は場合により、学研炎付帯胎Aコースへの加入が必要
GE82901	アーカイブズ資源	1	2.0	3・4	春AB	木5,6	村田 光司, 白井 哲哉, パーリュシェフ エドワルド	記録情報資源としてのアーカイブズの多様な媒体・形態やその歴史的な展開を、古代メソポタミアの粘土板から21世紀のポーン・デジタル記録に至るまで、世界各地の事例を通して論じる。また記録媒体に応じた保存管理・修復技術の特徴や、デジタル時代における記録保存の課題を学ぶ。	実務経験教員。対面
GE83001	アーカイブズ管理	1	2.0	3・4	秋AB	木1,2	パーリュシェフ エドワルド, 白井 哲哉, 村田 光司	現代の情報社会において、記録情報資源であるアーカイブズの保存利用施設として設置された文書館の現状や、そこで働く専門的職員のアークイビストが日常的に取り組んでいる現状を学ぶ。また、アーカイブズの管理における理論と実践の発展、デジタル時代におけるその課題を学び、文書館、アークイビスト、アーカイブズ学に対する理解を深める。	実務経験教員。対面